

*** 少年・学童の試合における塁審審判員派遣は下記の通りとする。**

記

少年：第1試合の塁審は、第2試合のチーム3名で担当する。

従って、第2試合の塁審は、第1試合のチームが担当する。

また、決勝戦は準決勝敗戦チームが担当する。

審判員の割振りには下記の通り

・前半<1-3回> 1塁、2塁：A中学、3塁：B中学

後半<4-7回(延長含)> 1塁：A中学、2塁、3塁：B中学

(注) 1塁か3塁かは審判担当チームで相談して決める。

・連盟審判員が球審を担当する。

学童：当該試合のチームから1名づつが担当する。

・一塁側ベンチのチームが三塁塁審、三塁側ベンチのチームは一塁塁審を担当する。

*** あきらかに誤審があった場合は、連盟審判員が4氏(3氏)審判員での協議を要請して確認する。特例として正しい判定に変更する場合がある。**

なお、協議結果は球審が速やかに両チームへ内容を報告する。

*** 第1試合の塁審審判員は開始時間の1時間前に集合して連盟審判員の指示に従う。**